

# 議会報告会報告書

平成24年8月8日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

B班

代表 大井淳一郎

平成24年6月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

## 記

### 1 開催日時

平成24年 7月 24日 (火) 午後7時 ～

### 2 開催場所 出合公民館

### 3 参加人数 (市民) 26 人

### 4 担当班議員名

(大井 淳一郎) (矢田 松夫 ) (河野 朋子) (中村 博行)

(江本 郁夫 ) (山田 伸幸 ) (高松 秀樹)

### 報告会次第

(1) 市議会議長挨拶 尾山信義

(2) 6月議会の報告

① 総務文教常任委員会 河野 朋子

② 民生福祉常任委員会 大井 淳一郎

③ 産業建設常任委員会 江本 郁夫

④ 議会運営委員会 高松 秀樹

(3) 質疑応答

### 6 主な質問・意見・提言

- ① 防災ラジオを導入することだが、有線放送がなくなる前に準備するべきであった。600台では足りないのではないのか。  
ランニングコストを考えると今回の予算では足りないのではないのか。

[回 答] 今回の対象は主に、要援護施設や自主防災組織であり市民全部をカバーしきれない。防災ラジオだけに頼るのではなく、防災メールや広報車、インターネットなども活用して情報を提供していくもの。

ランニングコストは、FMサンサンきららの設備を使い、放送して貰うのでかからない。

② 市民病院はゼロメートル地帯で大変危険である。現在地建て替えではなく、高台に建設すべきではないのか。市議会は了解しているのか。

[回 答] 基本設計は可決しているが、議決は14対9で可決しており懸念の声は確かにある。防災計画の見直し時に見直すよう附帯決議をしている。現在地で大丈夫なのか見守っていく。

③ 男女共同参画に取り組んでいるが、職員の研修はやられているのか。[宣言]する前に実施することがあるのでは。

[回 答] 男女共同参画の取り組みが実のあるものになるよう見守っていく。

④ 民家の耐震診断6万円のできるのか。補助の内訳は。

[回 答] 予算として6万円を上限としている。このうち国が1/2 県と市が1/4を持って市民の負担はゼロとなっている。

⑤ 議員定数減らせば良いというものではない。今の議員報酬で生活できるのか。見直しについては住民の声を良く聞いて欲しい。

⑥ 避難場所であっても防災ラジオ購入するのか。

[回 答] 避難場所には防災無線が配置されている。必要であれば要望する。

⑦ 避難場所の備蓄はどうなっているのか。

[回 答] 豪雨災害を受け、議会からも様々な要望して、執行部から回答が得られており欠如しているところは充実させていく。

⑧ 児童公園の把握はできているのか。公園の管理ができておらずやりっ放しではないか。

[回 答] 要望と言うことで持ち帰って検討する。

⑨ 給食センター計画があるが、子どもたちは給食を楽しみにしている。給食セン

ターには疑問感じる。どうなっているのか。

[回 答] 方向性きちんとしていない。3月議会に請願が市民から出され、全員一致で可決した。給食室は身近にあって欲しいという声が多く上がっている。2センターという計画もあるが、子どもたちをどう育てるのかビジョンがないので、迷走しているところ。

議員による政策討論会を2回もやられている。議員の温度差あるがいい方向を模索しているところ。

⑩ 小野田楠企業団地はアクセス道が狭くないか。誘致できないのでは。

[回 答] アクセス悪いこと同感。道の改善を県の方に要望しているところ。